

■九州主要港のガントリークレーン設置状況

細島港、八代港は川内港と「同等規模」で2基設置
熊本港は2基目整備中

令和6年4月16日(火)

県名	港名	ガントリークレーン 設置基数	コンテナ取扱量 (実+空)	各県 コンテナ取扱量	使用料	
					ガントリークレーン	ハーバークレーン
福岡県	三池港	0基	9,841TEU	福岡県 146万TEU	—	10,400円(30分)
	博多港	10基	962,682TEU		26,000円(30分)	—
	北九州港	10基	488,016TEU		76,000円(30分)	—
佐賀県	伊万里港	2基	56,087TEU	佐賀県 5.6万TEU	24,610円(30分)	—
大分県	大分港	2基	61,629TEU	大分県 6.1万TEU	1時間以内：27,000円 1時間超：13,500円(30分) ※条例66,000円(1時間以内)	—
長崎県	長崎港	1基	18,627TEU	長崎県 1.8万TEU	42,920円(1時間)⇒21,460円(30分)	—
宮崎県	細島港	2基	25,139TEU	宮崎県 2.8万TEU	1号機： 27,325円 (30分) 2号機： 28,710円 (30分)	—
	油津港	0基	3,293TEU		—	26,600円(30分)
熊本県	熊本港	2基	9,104TEU	熊本県 3.4万TEU	※2基目(900TEU型対応可能)を整備中 22,000円 (30分)	予備機 10,450円(30分)
	八代港	2基	25,742TEU		22,000円 (30分)	—
鹿児島県	志布志港	2基	109,438TEU	鹿児島県 13.3万TEU	減免後：13,370円(30分) ≪減免前：26,740円(30分)≫	—
	川内港	0基	23,952TEU		—	減免後：21,280円(30分) ≪減免前：42,560円(30分)≫

※コンテナ取扱量は港湾統計(R4)、鹿児島薩摩川内貿易振興協会調べによる。